

## 2 寄附による資金調達



# 寄附による資金調達

【ふるさと納税・企業版ふるさと納税・(ガバメント)クラウドファンディング】

## 【ふるさと納税】

- 個人住民税の一部を、自分の選んだ自治体に寄附というかたちで納税することができる制度（平成20年4月30日から制度開始）。
- 一定の限度内で寄附すると、寄附金のうち2,000円を超える部分の金額が所得税と住民税から控除される。実負担額2,000円での寄附が可能。
- 法人名義の寄附は、全額を損金算入できます。

総務省 ふるさと納税ポータルサイト

[https://www.soumu.go.jp/main\\_sosiki/jichi\\_zeisei/czaisei/czaisei\\_seido/080430\\_2\\_kojin.html](https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_zeisei/czaisei/czaisei_seido/080430_2_kojin.html)

## 【企業版ふるさと納税】

- 国の認定を受けた自治体の「地方創生プロジェクト」に対して企業が寄附を行った場合に、税制上の優遇措置が受けられる制度。
- 最大で寄附額の約9割の税額が軽減されます。

内閣官房・内閣府総合サイト 地方創生

[https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/kigyuu\\_furusato.html](https://www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/kigyuu_furusato.html)

## 【ガバメントクラウドファンディング® (GCF®)】

- 自治体がふるさと納税制度を通じて募集するクラウドファンディング。
- 自治体が抱える問題解決のため、ふるさと納税の寄附金の「使い道」をより具体的にプロジェクト化し、共感した方から寄附を募る仕組み。
- ふるさと納税と同様、寄附額のうち2,000円を超える部分について所得税や住民税の還付・控除が受けられます。

ふるさとチョイスGCF®

<https://www.furusato-tax.jp/gcf/?header>

## 【クラウドファンディング】

- 個人や企業、その他の機関が、インターネットを活用したプラットフォーム（クラウドファンディング企業）を介してプロジェクトを紹介し支援金を募集し、それに共感・賛同する人から広く資金を集める仕組み。

# 熊本県文化課の取組み例

## 【ふるさと納税】細川コレクション永青文庫応援分

**寄附金の活用先**

「ふるさとくまもと応援寄附金」は寄附金の活用先をお選びいただけます。寄附金を活用してほしい使い道をお選びください。

- ふるさとくまもとづくり応援分**  
熊本をより輝かしくするために必要な事業に活用します。以下、寄附金の使い道一例となります。  
ふるさと納税の活用先として、熊本県内の各自治体や熊本県内の各機関等に活用されています。
- くまモン応援分**  
くまモンの人々でくまモンの活動を支え、「100年後も愛されるくまモン」を目指すため、「くまモン応援分」にお申込みいただいた寄附金は、くまモンの活動に活用します。
- 夢教育応援分**  
お申し込み時に応援したい高校等を指定されるとその高校等に寄附額の1/2を交付します。残り1/2は県全体の夢教育推進活動等に活用します。夢教育等について、子どもたちの「夢」への期待、情となる教育に役立てられます。
- NPO等支達分**  
NPO等支達事業に活用します。支援したいNPO等を指定されるとそのNPO等に寄附額の1/2を交付し、公益的な活動に活用されます。
- 子ども図書館応援分**  
読書の定着を促進するために「子ども図書館」の運営に必要な図書や備品など、子どもたちの読書体験の環境整備に役立てられます。
- 細川コレクション永青文庫応援分**  
読後本を始めた大名家細川家ゆかりの美術工芸品や歴史資料等を守り、後世に引き継ぐため、修復や調査・研究、公開展示等の費用を募る。

### 【目的】

細川家ゆかりの美術工芸品や歴史資料等を守り、後世に引き継ぐため、永青文庫寄託品等の修復や調査・研究、公開展示等の費用を募る。

### 【準備期間】

令和6年度～

### 【募集期間】

通年

※令和7年10月から「ふるさとくまもと応援寄附金（ふるさと納税）」の選べる使い道に追加

### 【関係課】

財政課、税務課、熊本県立美術館

## 【企業版ふるさと納税】細川コレクション永青文庫推進事業

**企業版ふるさと納税による寄附を募集する事業の概要**

カーボンニュートラルを実現する取組み  
読書の定着を促進する取組み  
読書の定着を促進する取組み  
読書の定着を促進する取組み

熊本県立美術館に、熊本、宮崎にも事業所を設け、永青文庫が所蔵する美術品や歴史資料の調査・研究、修復や調査・研究、公開展示等の費用を募る。また、熊本県立美術館に、熊本、宮崎にも事業所を設け、永青文庫が所蔵する美術品や歴史資料の調査・研究、修復や調査・研究、公開展示等の費用を募る。

### 【目的】

同上

### 【準備期間】

令和4年度～

### 【募集期間】

令和5年度～

### 【関係課】

財政課、企画課、熊本県立美術館

## 【GCF®】蘇れ！横山大観が描いた光「雲去来」修復プロジェクト

ふるさとチョイスGCF

蘇れ！横山大観が描いた光「雲去来」修復プロジェクト

発行金額 10,187,000円

目標金額 14,000,000円

達成率 69.7%

寄付人数 376人

終了まで 受付終了

### 【目的】

細川コレクションの1つである、横山大観作「雲去来」の修復費用を募る。

### 【準備期間】

令和4年度～

### 【募集期間】

令和5年10月3日～12月31日（90日間）

### 【関係課】

財政課、税務課、熊本県立美術館

## 事例①【宇城市】 世界遺産「三角西港」を守り、あなたの手で未来へつなごう



旧三角簡易裁判所

旧三角簡易裁判所記録倉庫

龍驤館

(宇城市教育委員会提供)

### ◆プロジェクトの目的

三角西港は、明治20年に明治政府の国内統一殖産振興の政策に基づいて、オランダ人水理工師のローウェンホルスト・ムルドルの設計で建設されました。

当時の最新の技術が盛り込まれ、近代国家の威信を懸けた明治三大築港の一つです。これまでも維持保存してきましたが、今後も現在の姿を残すためには管理を続け必要な修繕を行わなければなりません。しかし、これまで事業の財源となっていた国からの補助金交付が不確実な状況であり、財政難の自治体としても資金の工面に苦戦しています。このプロジェクトでは、改修や活用事業にかかる費用をふるさと納税で応援してもらおうべく、寄附を募集しています。

### 【令和7年度募集分】

#### ◆目標金額

1,000万円

#### ◆達成金額

879万円  
87.9%

#### ◆募集期間

2025/7/21  
～2025/12/31

#### ◆支援者数

399人

### ◆寄附の使い道

- 【令和5年度募集分】
  - ・龍驤館耐震補強工事
- 【令和6年度募集分】
  - ・世界遺産登録10周年事業
- 【令和7年度募集分（予定）】
  - ・高校生対象周知啓発事業
  - ・旧三角簡易裁判所耐震補強事業

寄附累積額の3割程度を使用し、残りは大規模事業が発生した際に充てられるよう、基金として積み立てている。

### ◆活用サイト

○ ふるさとチョイスGCF <https://www.furusato-tax.jp/gcf/?header>

### <実施前>

#### ◆背景

構成要素の耐震補強工事を行う際に、予算が確保できなかったことから、当該事業及び将来的な維持管理、活用に必要な費用の確保のためクラウドファンディングを実施しました。

#### ◆全体の準備期間

当初の準備期間：令和5年（2023年）8月から令和5年（2023年）9月まで  
令和7年度募集分：令和7年（2025年）5月から令和7年（2025年）6月まで

#### ◆準備内容詳細

##### ・寄附金の使用目的の決定

財政部局との協議のうえ文化財保護部局が用途決定。  
大規模事業(工事等)については、優先的に充てるようにし、大規模事業がない時には予算折衝において対象外となった事業に充てるようにしています。

##### ・サイトの決定まで

ふるさと納税のシステムを活用し実施しているため当該担当部局が決定したサイトを使用。

##### ・目標金額の設定

当初は工事費用に充てるのが目的であったため、目標額を高く設定していたが、達成に至らなかったため、ふるさと納税担当部局と協議のうえ2年度目からはやや低めに設定。

##### ・返礼品の設定

ふるさと納税のシステムを活用しているため、返礼品はすべて当該システムと共通。

##### ◆市役所内の役割分担（課）

教育委員会文化スポーツ課・・・活用部局  
市長政策部市長政策課・・・・・・制度設計部局

### <実施期間中>

#### ◆途中経過報告等

寄附金を活用した事業を行った際や、それに関する動きがあった場合にサイト上で報告。  
原稿作成は文化財担当部局、サイトへの掲載をふるさと納税担当部局で行っています。

#### ◆問い合わせ内容等

特になし

#### ◆実施期間中の対応等

チラシを作成し、現地や市外の方が参加するイベント、市外におけるPRイベント、東京都の熊本銀座館などの施設で配布。

### 【課題】

ふるさと納税制度の継続によって成り立っている状況であり、それありきで資金運用を行うと制度廃止の場合には財源が不足。

## 事例②【八代市】

『令和2年日本遺産に認定された「石工の郷」のストーリーを活用し、八代の魅力を多くの人々に伝えてファンを増やしたい!』



笠松橋



穀樋 (大鞘樋門群)

(八代市教育委員会提供)

### ◆プロジェクトの目的

「石工の郷八代」のファンを増やし、後世まで貴重な歴史文化遺産を残すための取組への活用を予定しています。一例として先端技術(動画撮影、ドローン撮影、三次元計測など)を駆使して得られた成果を基に、日本遺産の魅力を多くの人にPRするコンテンツ、八代に訪れた人たちにこれまでにない新たな体験を提供することができる訴求力の高い以下のコンテンツの作成を目指します。

### ◆目標金額

5,000万円

### ◆達成金額

21,104.4万円  
422.1%

### ◆寄附の使い道

八代市日本遺産活用推進基金を設立し、八代市日本遺産活用協議会の財源とし下記の活動等を行っている。

- ・日本遺産の記録・PR活動
- ・ドローンによるPR画像の制作
- ・構成文化財の三次元計測等

### ◆募集期間

2020/12/4  
～ 2021/3/5

### ◆支援者数

19,798人

### ◆活用サイト

- 楽天ふるさと納税

[https://event.rakuten.co.jp/furusato/?l-id=furusato\\_pc\\_sub\\_headmenu\\_logo](https://event.rakuten.co.jp/furusato/?l-id=furusato_pc_sub_headmenu_logo)

### <実施前>

#### ◆背景

日本遺産に認定されたものの活動の財源がなかったため。

#### ◆全体の準備期間

令和2年(2020年)6月から令和2年(2020年)11月まで

#### ◆準備内容詳細

##### ・寄附金の使用目的の決定

部内協議により決定

##### ・サイトの決定まで

当時八代市のふるさと納税で利用していたサイトの中で、設定期間に利用できるサイトが楽天ふるさと納税でした。

##### ・目標金額の設定

日本遺産に認定される3年間、国の補助金を活用した事業を実施することができ、3年分の事業主体者負担金相当分を目標としました。

##### ・返礼品の設定

財政課やふるさと納税担当部局(観光振興課)と協議し、八代市のふるさと納税返礼品の中から八代の魅力を味わえ、八代に行ってみたくなる返礼品を選定。

##### ◆市役所内の役割分担

観光振興課・・・募集等手続き全般

文化振興課・・・エントリーシート作成、ふるさと納税受領書発送補助等

### <実施期間中>

#### ◆途中経過報告等

目標額達成時、ネクストゴールの設定の報告。

#### ◆問い合わせ内容等

特になし

#### ◆実施期間中の対応等

目標金額に達成したため、ネクストゴールの設定を行いました。

### <実施後>

#### ・報告について

八代市のふるさと納税のホームページにおいて随時行っています。

### 【課題】

現在は基金を切り崩しながら活動費に充てている状態で、自走化のための資金を得るための活動が必要。

## 事例③【熊本県（阿蘇草原再生・世界遺産推進課）】 阿蘇世界文化遺産登録応援プロジェクト



草原

野焼き

御田祭り

(熊本県阿蘇草原再生・世界遺産推進課提供)

### ◆プロジェクトの目的

阿蘇のカルデラを中心とする壮大な草地景観は、野焼きー放牧ー採草という一連の草地管理を1000年以上にわたって守り続けたことにより形成された文化的景観です。

熊本県ではこうした人々の営みが作り上げた文化的景観を未来に残すために世界文化遺産登録を目指して活動しています。登録に向けて、阿蘇の世界的価値を整理するための学術調査や法的保護のほかに、住民の方々はもちろん、国内外の人々に阿蘇の価値を発信していくことが重要となり、より多くの方々に取組みを知ってもらうために実施しました。

### ◆目標金額

1,000万円

### ◆達成金額

1036.3万円  
103.6%

### ◆募集期間

2024/10/1  
～ 2025/1/14

### ◆支援者数

273人

### ◆寄附の使い道

- ・阿蘇地域における資産候補の学術的調査、景観保全のための分析調査費用
- ・阿蘇をテーマとした研究への支援
- ・世界文化遺産登録に向けた資産候補の保全
- ・普及・啓発グッズの作成
- ・中高生が阿蘇の世界的価値や魅力を学ぶための学習活動に対する支援

### ◆活用サイト

- ふるさとチョイスGCF <https://www.furusato-tax.jp/gcf/?header>
- YAMAP ふるさと納税 <https://furusato.yamap.com/>

### <実施前>

#### ◆背景

世界遺産登録に向けた予算不足と県内外に阿蘇の世界遺産登録をさらにPRしたいという思いから、ふるさと納税型クラウドファンディングによる取組を行いました。

#### ◆全体の準備期間

令和6年（2024年）4月から令和6年（2024年）9月まで

#### ◆準備内容詳細

##### ・寄附金の使用目的の決定

庁内協議により決定（寄附の使い道に示した項目の事業に分配）

##### ・サイトの決定

税務課が既にふるさと納税に係る業務を同サイトを通じて実施していたことから、当課も使用することになりました。専用IDを発行してもらい、マニュアル等もわかりやすかったです。さらに、サイト担当者には、事前の打ち合わせから募集開始後のフォローまで丁寧に伴走いただき、業務をスムーズに進めることができました。

##### ・目標金額の設定

目標金額に関しては、他の同様の事例（世界遺産や文化財）や阿蘇の知名度などを考慮し、サイト担当者とも協議した上で決定しました。

##### ・返礼品の設定

熊本県のふるさと納税で設定されている返礼品を活用したため、本プロジェクト用に独自の設定は行っていません。

### <実施期間中>

#### ◆途中経過報等

締め切り前の連絡、目標達成時の報告・御礼

#### ◆問い合わせ内容等

原則キャッシュレスで実施したが、とくに大きな混乱はありませんでした。

※現金納入での問い合わせは1件のみ

#### ◆実施期間中の対応等

- ・県外で実施されていた各種県人会やシンポジウムなどに出向き、本プロジェクトをPRしたほか、県の広報サイトや各種投稿記事などを通じて周知を行いました。
- ・課独自でチラシを作成し、上記イベント等で活用しました。
- ・募集期間後半にはサイト担当者の提案でYMAPとも連携して募集を行いました。

### 【課題】

- ・世界文化遺産登録までの道のりは長いので、継続的にできる仕組みづくりが必要
- ・草原維持に関しては、同様の取組みに対する寄附金制度なども存在するため、整理が必要